

ロボティクス&デザイン工学部 カリキュラム・ポリシー

ロボティクス&デザイン工学部ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下の方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目運営を取り入れるとともに、科目間連携を高めた体系的カリキュラムを編成する。

1. 人文科学、自然科学、情報技術、数理・データサイエンス、経営、知的財産等に関する科目によって、技術者・デザイナーに求められる幅広い教養を養う。その前提として、日本語リテラシー（理解力・表現力）に関わる能力を高める。
2. 継続的な英語教育によって、英語による基礎的コミュニケーション能力を養う。
3. 必修・選択（選択必修を含む）科目によって、専門分野の広範な知識を体系的に身につける。
4. 実験・実習・探究演習（Problem-Based Learning）の科目によって、自発的・継続的に学習する能力、論理的思考力ならびにコミュニケーション能力を養う。
5. 技術者倫理に関する科目等によって、技術者としての使命感ならびに倫理観を養う。
6. 学士課程教育の集大成となる卒業研究までの学修の積み重ねにより、自らの専門分野の特性を他分野の特性理解によって正しく把握し、協働によって課題を解決できる能力を養う。また、論文をまとめる論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等と目的・目標を完遂する行動特性を養う。